

# 目次

序章	動態としてのテキスト	1
	「凡例」 ◆言語化について ◆本書の枠組み・用語などについて ◇言語をどのようにとらえるか ◇文字化について ◇本書における「テキスト」 ◇「本文」について ◇「変容」について ◆動態としてのテキスト概観	
第一章	夏目漱石「道草」	47
	◇第十回を例として ◇第十三回を例として ◇第二十八回を例として ◇第三十三回を例として ◇第四十回を例として ◇第四十八回を例として	
第二章	岸田國士「双面神」	71
	◆岸田國士「双面神」について ◆「原稿」と「初出」との対照 ◆『岸田國士長篇小説集』第	

五巻の「本文」 ◆『三代名作集全集・岸田國土集』の「本文」 ◆『岸田國土長篇小説集』第八巻の「本文」

### 第三章 島崎藤村「春を待ちつつ」

167

◆山崎斌旧蔵訂正稿本

### 第四章 改作によるテキストの変容 齋藤茂吉のテキスト

193

◆改作をどうとらえるか ◇齋藤茂吉における改作 ◆『赤光』の初版と改選版 ◆初版『赤光』と改選版『赤光』 ◆『あらたま』にみられる改作 ◆『白き山』にみられる改作 ◆『連山』にみられる「改作」 ◇『連山』印刷原稿 ◇『連山』における改作 ◆『童牛漫語正誤』

### 第五章 森鷗外「文づかひ」

299

◆「文づかひ」のテキスト ◆「文づかひ」テキストの成り立ち ◇どのような語が使われているか…語の選択 ◇どのように文字化されているか…選択した語の文字化 ◆自筆原稿と初出との対照 ◇受けの括弧と句読点の位置 ◇行頭における繰り返し返し符号の使用 ◇仮名一字の繰り返し返し符号 ◇電子化と漢字のかたち ◇手書きと漢字のかたち ◇「江」「志」を字源とする仮

### 第六章 江戸川乱歩の諸テキスト

419

一 平仮名を漢字に変えない

419

二 「パノラマ島綺譚」

423

◆「パノラマ島綺譚」初出と初版 ◆「パノラマ島綺譚」現代大衆文学全集第三巻 ◆平凡社版「江戸川乱歩全集」

三 何にアウトプットされるか

447

◆紙に印刷された初版復刻版とデジタル画像の十八版 ◆「原則として漢字は新字体・仮名づかいは現代仮名づかい」 ◆「編集附記」に記されていないこと ◆「漢字語」とは？ ◆送り仮名について ◆振仮名について ◆漢字字体について ◆漢字字体と現代日本語母語話者の「心性」 ◆語形の入れ換え ◆よみやすさと原態保持

第七章 文庫本というテキスト ..... 471

- ◆テキストとしての文庫本を概観する ◇岩波文庫を例として ◇新潮文庫を例として ◆谷崎潤一郎「刺青」について ◆文庫本というテキストの日本語 ◇振仮名がない「本文」 ◇本文と振仮名

あとがき ..... 503

索引 ..... 左開き ..... 001